

奨励賞

(株) 大分うにファーム

テーマ：大分県からウニ業界へ革命を！

ウニ畜養で地域経済、漁業者支援、環境保護をかなえる世界初の循環型ビジネス

【事業主の概要】

- ・所在地：国東市
- ・代表者：代表取締役 栗林 正秀

【プラン概要】

可食部がなく売り物にならないため、漁獲対象とならないムラサキウニを、ウニ畜養専用飼料と陸上での畜養技術によって、食用として育て販売する。

○特徴

- ・陸上施設に飼育水槽を整備し、水温・水質を最適化、約6～8週間で食用ウニとして生産する。
- ・ウニの相場が高騰を続けている中、地元で獲れたウニを1年を通じて飼育することで、安定供給が可能。
- ・ムラサキウニを地元漁協者から買い取ることで職を生み出し(漁業者支援)、増えすぎたムラサキウニによって、海藻が荒れるのを防ぎ(環境保護)、畜養して、食用として販売する(地域経済活性)、循環型ビジネスモデル。

○ムラサキウニ

<養殖開始前>
身入りが少ない状態



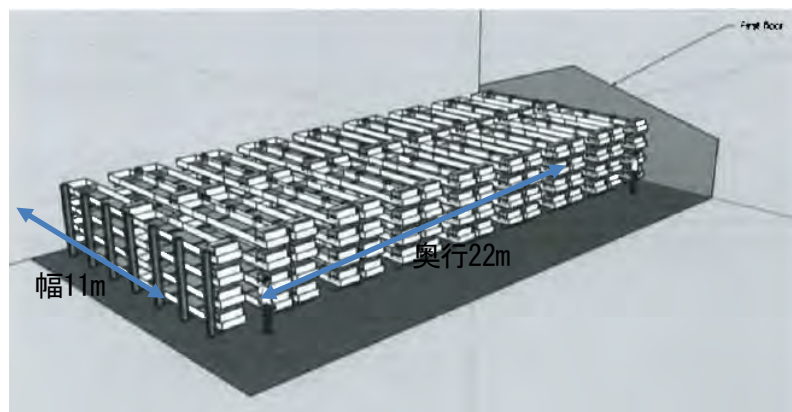
10週間後



<養殖後>
ウニ畜養専用飼料で養殖



○大分うにファームの完成図(水槽)



工場の1～2階に、水温・水質を最適化し、飼育サイクル約6～8週間、年間6期作を実現させ、年間45トンのウニを生産予定